

様式 1

授業科目 家族関係論

科目コード番号

【担当教員名】 山手 茂	対象学年	1	対象学科	理学・作業・言語・栄養・社会
	開講時期	前期	必修・選択	選択・選択・選択・選択・必修
	単位数	2	時間数	30

【概要及び学習目標】

<概略>

人間にとって最も身近な社会集団・共同生活単位である家族について、歴史的変動、現代家族の構造と機能、発達課題と家族関係、家族の危機・生活問題と社会福祉・保健・医療などについて概説する。

<学習目標>

1. 人間にとって家族がいかに大切かを理解する。
2. 現代社会と家族生活・家族問題との関係を理解する。
3. 家族の生活設計と社会福祉・保健・医療との関係を理解する。
4. 患者・障害者の在宅ケアとケアマネジメント、家族エンパワーメントの課題を理解する。

回数	学習の主題	学習内容	学習方法
1	家族の研究法	家族とは何か。家族はどのように研究されたか。	講義受講 読書等 自主学習
2	家族の発達課題	家族のライフサイクルと各段階の生活課題。	
3	子どもと家族	人間の誕生から成人までの親子関係の諸問題。	
4	結婚と家族形成	成人して後の結婚・家族形成の諸問題。晩婚化。	
5	夫婦関係と親子関係	夫婦の共同課題としての妊娠・出産・育児の諸問題。	
6	老後の親と子の関係	老親と子の協力関係。老親介護の諸問題。	
7	社会変動と家族変動	前近代・近代・現代の社会と家族の特徴。	
8	現代の家族問題	生活の不安定化と家族の解体化。	
9	家族福祉と社会福祉	ドメスティック・バイオレンス、児童虐待、老親虐待。	
10	生活設計とエンパワーメント	家族の主体的再構築と援助サービスの課題	
11	在宅ケアとネットワーク	家族・親族ネットワークと専門職ネットワークの課題。	
12	家族と地域社会	家族と地域保健福祉計画との関連	
13	家族と日本社会	家族と社会政策（保健・医療・福祉政策）との関連	
14	まとめ		
15	”		

【評価方法】

①レポート、②出席、③期末試験を総合して評価する。

【履修上の留意点】

家族は最も身近な共同生活の単位であるから、自分の家族生活の体験をふまえて、学問的に研究することを目的として、主体的に学習してほしい。

【使用図書】

教科書・参考書等	書名等	著者名	発行所	発行年・価格・その他
教科書	毎時間印刷教材を配布する。			
参考書	随時紹介する。			
その他 (プリント等)				